



▲ご利用者様方はもち米の扱いも慣れたもの。手分けしてみるみる丸めていきます。



▲粒あんときな粉のおはぎが揃い踏み♪



▲もち米からい〜い匂いが立ち上がります！

おぐら山荘便り

2019年10月1日(火)発行

お彼岸の日のおやつに おはぎを作りました



おぐら山荘では、季節を楽しむイベントを企画してご利用者の皆様と一緒に楽しんでいきます。今号は、おやつ作りでおはぎを作ったこと、花火、9月の壁飾りの話題などをお届けします。

秋といえばお彼岸がありますね。それにちなんで今月のおやつ作りは、おはぎ作りをしました。

春のお彼岸時期にも作るので、ご利用者様も手慣れた様子でおやつ作りを進めていきました。

炊いたもち米をボウルに入れて、すりこぎ棒でついていきます。少し滑らかになったもち米を一口大の大きさの量をラップにのせて、形を作りまします。再度、ラップに粒あんを載せて形を整えたら、粒あんのおはぎの完成です！

もうひとつ、形を整えたもち米に、きな粉をまぶして、きな粉おはぎも作りました。

ご先祖様のお墓詣りに行く機会が少ないというご利用者様も多いのですが、感謝の気持ちと一緒にいろいろの願いや祈りを込めて、おやつとして頂きました。

皆さん笑顔ですぐに完食され、甘いおはぎに、大満足のご様子でした。



9月の壁飾りです 秋の大作できました♪



▲ススキの穂は毛糸で表現。表情が出ました。

9月の壁画は、秋をイメージしたものを制作しました。モチーフは川辺に生えるススキや、その周りを飛び交うトンボです。ススキは、茶色の色紙を細い棒に丸め、穂の部分は、毛糸を束ねて作りました。なかなか



▲真っ赤な夕焼けに映えるススキ。雄大な景色です。

か細く巻くことができずに、あきらめようと思えるご利用者様を励まし、なんとか数本ススキが完成しました。川辺にある石は新聞紙を丸めて作成、夕焼け空はオレンジ色を中心とした何枚もの色紙を千切って貼りこんでいきました。

貼りこむのも少し根気のいる作業で、時間がかかってしまいましたが、無事に完成することができました。

おぐら山荘にお越しの際は、力作をぜひ見て行ってくださいね。



エー美の 介護の道を きわめる!?

第9回



▲最後は仕掛け花火♪鮮やかな火柱が上がります。

夏の終わりの夜に 花火をしました



8月の終わりに花火をしました。当日は、少し湿度がありつつも、幾分涼しい夜となりました。最初は、手持ち花火をお渡しして、身近に赤や

緑、黄色など様々な色に変化していく花火を楽しんでいただきました。スナップの声掛けで、くるくる回したり、軽く上下

火を楽しまれていたようです。そのあとは、参加された入居者様から少し離れたところで、スタッフが仕掛け花火を打ち上げま

今年も雨も多く、気温の変化も激しい日が多かったですが、大きく体調を崩される方も少なく、元気に夏を越すことができました。



▲火をつけると色が次々と変わりながら火花を放ちました。



▲くるくる回して変化を楽しみます。

おぐら山荘
TEL 0977-85-8307
 〒874-0840
 大分県別府市大字鶴見 1561 番の2
 URL <http://ogura.link/>

9月半ばの敬老の日、ささやかですが感謝の日としてお祝いをしました。いつもとは少し違う和菓子をおやつに食べていただき、記念のカードをプレゼント。それから皆様にかからの抱負をお話ししていただきました。

感謝の日

